令和６年度 明照保育園 保育参観＆多職種交流

地域の子育ち・子育て支援拠点として
保育・教育そして社会へ

こどもたちがまいにち
やキャベツを
くれるんだ♪

♪メイ♪

来てくれてありがとう！
感想を下のQRコードから
教えて、め～(~o~)

８：５０～	受　付
９：００	♪オリエンテーション♪
９：３０	♪園内自由見学♪
１０：４５	♪交流♪

令和６年８月２８日(水)

社会福祉法人　明照保育園

幼保連携型こども園　明照保育園

明照児童クラブ

児童発達支援　明照みっけ

ご参加のお礼

日頃より、様々な交流やご支援をいただき、誠にありがとうございます。
本日はお忙しい中、明照保育園の保育参観及び多職種交流会にご参加くださいまして感謝申し上げます。

園は、当たり前のことですが毎日子どもと、そして子育てをする保護者と顔を合わせる場所です。それによって私たち保育者は、ひとりひとりの子どもの心身の健康を維持していく予防的な支援を心がけています。

現代の保育は、地域や家庭では得られない豊かな体験や社会性の育ち、支援の必要な子どもへの保育、外国籍家庭も含め多様な価値観や背景を持つ保護者と関わりや支援、医療的ケア児、小児慢性特定疾病を持つ乳児期からの保育など、多種多様な社会の中で、医療の進歩もともなって多くの事が求められています。
加えて豊橋の乳幼児施設は現在、職員の処遇改善や配置基準の見直し、今年度より導入された入所利用調整システムという、今後どうなっていくのか目の離せない岐路に立たされています。
学校教育においても、特別支援教育のあり方、とよはし版 GIGA スクール構想、部活動の見直し、教員の働き方改革、現在の学校や教室に行きづらさを感じる子ども達への教育や学校のあり方など、様々な視点からの転換期が続いていると言えます。

多様な社会にあって子どもの多様な育ち方が受け入れられ、かつての正解のある教育や価値観とは真逆の時代となっている今、保育者や教員は日々子どもとの関わりに模索しています。時に根を詰めすぎて心に余裕のなくなってしまう事もあります。

そんな私たちに、子どもは満面の笑みで向かってきます。子ども達の元気さや成長する姿は、私たち保育者や教員にとってのやりがいを何度も呼び覚ましてくれます。私たち自身が、子どもと向き合うことの尊さややりがいを純粋に感じられる状況や心持ちであることが、子ども達にとって何よりの環境であると強く感じます。

そのために、保育者や教員の抱えている現代の困難を様々な専門的な視点で考え合える多職種との交流は、今最も意義のある取り組みだと考えます。
パズルのピースがどんどん細かく複雑になりすぎた現代、保育者や教員だけで保育や教育を担うのでなく、幼保から小中高大の教育や療育機関、医療や保健機関、行政の方々が、それぞれの専門分野を持ち寄って「あーでもないこーでもない」と多職種の方々の手で子育ち・子育てのピースをはめてみませんか？

互いの専門性と人間性を持ち合って、人の育つ力を信じ支えることを目的とやりがいに出来る仲間としてこの会で様々な交流ができたら、心より嬉しく思っています。

社会福祉法人明照保育園　幼保連携型認定こども園　明照保育園　　全体的な計画

事業の目的	全ての子どもに認定こども園法に基づいて、乳児及び幼児の教育及び保育事業を行うこと
保育理念（事業運営方針）	「豊かな体験・遊びを通じ、情緒豊かで自立した子どもを育てる」の保育・教育理念に基づき子どもの人権や主体性、個性を尊重し、１人１人の最善の幸福の為に保護者や地域社会と協力し、児童の福祉を増進する。あわせて地域社会における家庭援助を積極的に行うことで、充実した子育て社会を実現する公的施設として、社会的責任を果たしていくことに努める。
保育方針	・保育に関わる専門職同士がそれぞれの専門性を発揮しながら協力し、養護と教育の一体的な展開を図り、保育の内容の質を高め、充実させる。 ・子どもの主体的な発達要求に応答する環境を豊かに整え、自ら興味関心を持って環境に関わり、チャレンジしたことへの達成感を味わえるようにし、心情・意欲・態度を養う。 ・子どもの 24 時間の生活を視野に入れ、家庭との連携を密にして、発達過程に応じた育ちを導けるよう、保護者の共感を得て養育力の向上を支援する。 ・子どもが育つ道筋や生涯教育を見据えた長期的視野を持って、小学校と情報交換をしたり交流を密にしたりして積極的に連携していく。 ・「保育・教育課程」を柱に「年間指導計画」「月週日案」等の計画を立て、実践後に記録・評価を作成し、一人一人の子どもや年齢別に編成されたクラスにおける「計画・実践・検証・改善」のＰＤＣＡサイクルを職員全体で共通把握することで、園全体の向上を図る。
子どもの理想像	心身ともにたくましく、思いやりのある子ども
地域の実態に対応した事業	かつての農漁村から宅地化が進む中、共働きの家庭が多く、祖父母が同居または近くに住む家庭も多いものの、祖父母の多くも仕事を持っており、育児の伝承機能や地域総合扶助力が低下している。その為地域のニーズにより、時間延長保育・障害児保育・子育て支援事業・地域交流事業の他、学童保育（明照児童クラブ）も行っている。
社会的責任	［認定こども園の役割］教育及び福祉施設として子育て家庭や地域に対し　こども園としての役割を確実に果たす。 ［人権尊重］職員は、保育の営みが子どもの人権を守る為に法的・制度的に　裏付けられていることを認識する。 ［説明責任］保護者や地域社会と連携・交流を図り、一方的な説明でなく分かりやすく応答的な説明をする。 ［情報保護］保育にあたり知り得た子どもや保護者に関する情報は、正当な理由無く漏らしてはならない。 ［苦情処理・解決］苦情解決責任者である園長の下に苦情解決担当者を決め、書面における体制を整備する。また第三者委員を設置する。
発達過程とクラス編成	６年齢別のクラス（幼児６クラス、乳児６クラスの計１２クラス）で園生活を送るにあたり、保育指針の８つの発達段階を前提に計画等がなされている。また、１人１人の成長段階をふまえ、養護と教育が一体となり保育が展開される。
主な行事	入園式・誕生会・健康診断・親子遠足・保育参加と試食会・フリーマーケット・個人懇談会・プール開き・七夕会・年長児宿泊保育・夕涼み会・祖父母のつどい・園内運動会・いもほり・焼きいもパーティー・明照まつり(ﾊﾞｻﾞｰ)・　七五三宮参り年長児おわかれ遠足・作品展・クリスマス会・もちつき・節分豆まき・遊戯会・卒園児保護者会と三世代交流会・卒園式
保育時間	＊１号認定…平日 8:30～15:30　　＊2・３号認定…平日 8:00～16:00、土曜日 8:00～12:00　　☆含延長保育…平日 7:30～19:00、土曜日 7:30～12:00

保育目標

	0歳児	1歳児	2歳児（満3歳児）	3歳児	4歳児	5歳児
保育目標	個々の生活リズムを整え、安心して過ごす	安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが芽生える	衛生的で安全な環境で心身ともに快適な生活を送る	保育者や友だちと遊ぶ中で自分のしたい事、言いたい事を言葉や行動で表現する	保育者や友だちと一緒に遊びながら、つながりを広げ、集団としての行動ができるようになる	生活や遊びの中で、1つの目標に向かい力を合わせて活動し、達成感や充実感をみんなで味わう
養護（保育教諭が行う事項）生命の保持	・人への基本的信頼感が芽生える ・生理的欲求を満たし、個々の生活リズムを整える	・特定の保育者との信頼関係が更に深まり愛着関係が育まれるように接する	・生活や遊びの中で自我が育つような関わりを持つ ・気候に応じて体調管理をする	・基本的な生活習慣を身につけられるようにする ・運動機能が高まるようにする	・自ら体調の変化に気づく ・運動量が増し活発に活動できるように配慮する	・健康に関心を持ち、生活に必要な習慣を身につけられるようにする
養護（保育教諭が行う事項）情緒の安定	・発達過程などを的確に把握し応答的なふれ合いや言葉かけを行う ・依存的欲求を満たす	・スキンシップにより、保育者との関わりの心地よさや安心感を得るように接する	・子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いていく	・主体的な活動を促す環境を構成し探索意欲が高められるように見守る	・多様な経験を通し自己肯定感を育み、自信や保育士への信頼を獲得できるようにする	・保育園が子どもたちにとって安心・リラックスして生活できる場とする
教育及び保育（教育・保育5領域が示す目的に沿う）健康	・清潔になる事の心地よさを感じる	・身のまわりの簡単なことを援助してもらいながら自分でしようとする	・生活の中で援助してもらいながら自分でできたことに喜びを感じる	・身のまわりを清潔にし生活に必要な活動を自分でしようとする	・自分の身体に関心を持ち、異常を感じたら自分から保育者等に知らせる	・室内外の危険な物や場所・危険な行動を知り気をつけて活動をする
教育及び保育（教育・保育5領域が示す目的に沿う）人間関係	・特定の保育者との関わりにより信頼関係が生まれる	・保育者や友だちに関心を持ち真似をしたり自ら関わろうとする	・生活や遊びの中で順番を待つなどの決まりがあることを知る	・友だちと簡単なルールのある遊びをする中でルールが守れる	・共同で使う物の貸し借りができるようになり、我慢することを覚える	・遊びや行事を通じ力を合わせる大切さを知り、友だちを思いやる気持ちを持つ
教育及び保育（教育・保育5領域が示す目的に沿う）環境	・安心できる人的及び物的環境の下で感覚の働きを豊かにする	・好きな玩具や遊具に興味を持って積極的に関わり様々な遊びを楽しむ	・身近なもので遊んだりする中で、物への愛着や親しみを持つ	・身近な動植物に親しみを持ち世話をすることで生命の尊さに気づく	・身近な物や遊具に興味を持って関わり、考え・試すなど工夫して遊ぶ	・生活や遊びの中で簡単な標識や文字などに関心を持つ
教育及び保育（教育・保育5領域が示す目的に沿う）言葉	・語りかけられることにより声を出したり応えようとする	・話しかけややり取りの中で声や言葉で気持ちを表そうとする	・絵本などで楽しみながら言葉に親しみ、模倣を楽しんだりする	・話を聞いたり質問したり、興味のある言葉によるイメージを楽しむ	・保育者や友だちとの会話を楽しみ相手に伝わるように話す工夫をする	・人の話を聞いたり身近な文字に触れたりして言葉への興味を広げる
教育及び保育（教育・保育5領域が示す目的に沿う）表現	・土や水などの素材に触れ全身で感触を楽しみ感性を育む	・保育者や友達と一緒に歌や手あそび、リズムに合わせ身体を動かすことを楽しむ	・保育者や友達と遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ	・いろいろな素材や用具に親しみ友だちと工夫して遊ぶ	・友だちと歌ったり踊ったりして 1 つのものを作り上げる楽しさを味わう	・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり演じて遊ぶ楽しさを味わう
食育	もぐもぐごっくんを楽しむ	食べることを楽しむ	意欲的に食べるようになる	食材に興味を持ち、楽しく食べながらマナーを身につける	友だちと一緒に作ったり食べたりすることの楽しさを知る	食事が健康や成長につながることを意識し、感謝の気持ちを持つ

保護者・地域・子育て家庭への支援及び取り組み

○［明照げんきっ子ビデオ］園生活を学年ごとに映像で知らせる
○［お知らせくん］その日の保育の様子を保護者にメール等で知らせる
○子育て支援活動（園庭開放・年齢別ひろば・育児相談・園行事参加）
○明照児童クラブ（学童保育）
○実習生・職場体験の受け入れ
○子ども食堂「おとなりさん」
○なかよし保育（小中学生・地域との交流）
○地域行事への参加（七五三、節分）
○高齢者施設等との交流　　他

幼保連携型認定こども園教育・保育要領（①心情②意欲③態度）

健康	①明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ②自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
人間関係	①幼保連携型認定こども園の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ②身近な人と親しみかかわりを深め愛情や信頼感を持つ ③社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。
環境	①身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ②身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、ものの性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする
言語	①自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ②人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育教諭等や友達と心を通わせる。
表現	①いろいろなものの美しさ等に対する豊かな感性を持つ ②感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ ③生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ

【幼児期の終わりまでに育つことが望ましい１０の姿】
①健康な心と体②自立心③協同性④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり⑥思考力の芽生え⑦自然との関わり・生命尊重
⑧数量・図形、文字等への関心・感覚⑨言葉による伝え合い
⑩豊かな感性と表現

健康支援	○健康・発育・発達状態の把握　○登園児及び保育中の心身状態や家庭生活・養育状態の把握　○便・尿・ぎょう虫等の検査 ○内科・歯科健診　○保健だより　○食育だより　○異常が認められた時の対応　○離乳食児・アレルギー児への個別生活支援
特色ある保育	○園バスでの園外保育活動　○様々な栽培飼育活動 ○文化的活動（年長児の日舞・和太鼓・剣道）○計画的な体育指導　○たてわり保育やなかよし保育による異年齢児交流　○食育の一環としての調理員と連携したクッキング活動
環境・衛生管理	○施設内外の設備・用具等の清掃及び消毒　○安全管理及び自主点検　○職員健康診断 ○調理員の検便　○感染予防対策の実施及び保護者との情報共有
研修計画	○定期的な園内研修（園内研究・食育・和太鼓・リズム・体育など） ○各種園外研修への計画的参加（保育方法・給食・アレルギー・障害児保育・家庭支援・行政等）
安全対策・事故防止	○毎月の避難訓練（火災・地震・不審者対応）　○消防点検　○交通安全指導　○救命講習会（AED を含む）
職員保育委員	○保育計画　○安全・防災・保健・衛生　○動植物・食育・自然環境　○室内遊具・教具環境 ○特別室・戸外環境　○行事・活動備品環境の各環境委員会を設置し、現状把握・分析・整備を行い、保育環境の向上を図る
学校との連携	○小学校との情報交換会　○幼年期教育委員会　○認定こども園保育要録を小学校へ送付　○小学校見学・体験 ○園行事への参加呼びかけ　○中学生の保育体験授業及び職場体験　○保育者･看護師･心理士養成校の保育実習等
自己評価	○毎週・毎月ごとに保育を振り返り、改善していく　○職員間評価によるヒアリング ○職員による保育環境研究委員会での評価

保育理念・計画・組織

【地域の方に向けて】

社会福祉法人

めいしょうほいくえん
明照保育園

幼保連携型認定こども園　明照保育園

〒441－8093　豊橋市牟呂中村町６－１
Tel 31－1419　Fax 31－1499
http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/index.htm
理事長　＆　園　長　　中島　章裕

くわしいことは、
ホームページにどんど
ん アクセスしてね！

見学どうぞ
（連絡してね！）

保育のねらい・大切にしていること

『心身ともにたくましく、思いやりのある子ども』

★豊かな感性と心情、まわりのものへの関心や意欲、
人との温かい関わり合いの中で生きていく姿勢を育みたいと思います。★

【養　護】
ひとりひとりの個性を見つめ、情緒の安定を図り、温もりのある保育をします。

【生活・あそび】
生活リズムを大切にし、自己活動と友だちと協調できる活動を、生活や遊びを通して総合的に経験するようにしています。

【文化と交流】
個々の特性に応じながら、発達課題を配慮して体験と交流のできる環境を整えます。

◇小学校区　主に牟呂小学校と汐田小学校

◇職員状況　園長・副園長・主幹保育教諭
保育教諭　５５名　栄養士･調理員８名
看護師･事務員･保育補助等　臨床心理士（週1）

◇基本保育時間　平　日　８：００～１６：００
土曜日　８：００～１２：００

◇施設について（敷地面積 1,615.17㎡）
園　舎　鉄筋コンクリート造３階建　延べ　1,876.75㎡

◇園児数（R6.8.1 現在）

年齢	0	1	2	3	4	5	合計
人	12	50	51	54	51	53	271

開園時間　平　日　７：３０～１８：３０
土曜日　７：３０～１２：３０

◇一年の行事・保育・家庭との交流

4	◎入園式　○始業式　◎総会 ◎親子遠足
5	◎保育参加（学年ごと）○内科健診
6	◎幼児個人懇談会 ○歯科健診 ○プール開き
7	○七夕会　○年長児宿泊保育
8	○夏季保育　◎夕涼み会
9	◎祖父母のつどい
10	◎明照あきまつり ◎園内運動会　○内科健診
11	○いもほり・焼きいもパーティー ○七五三宮参り◎年長児おわかれ遠足
12	◎作品展 ○クリスマス会 ○もちつき
1	○おめでとう会　○保育参加
2	○節分豆まき(園内・校区交流)　◎遊戯会
3	◎卒園児保護者会と三世代交流会 ○お茶会　○お別れ会 ◎卒園式　○修了式

・誕生会・身体測定・避難訓練・交通安全指導（毎月）
・検便と検尿（年１回）・健康診断（年２回）・歯科健診
・◎印は、ご家庭の方も参加する行事です。
・定期的に、園のバスで園外保育に出かけます。
・月１回土曜日に、小学生以上の子どもや地域の大人が保育に参加する『なかよし保育』を行っています。

◇保護者との連絡・交流
- 園だより（学年だより）・保健だより
- 献立表　・早起きカレンダー
- 送迎時の懇談　・個人懇談会
- “お知らせくん”…クラスの毎日の保育の様子を、その日のうちに保護者の携帯電話に配信します
- 保育参加　・給食（おやつ）試食会

◇家庭との交流
- 映像による園だより
『明照げんきっ子ビデオ』（無料貸出）
- 四季折々の行事参加・育児相談　など

◇食物アレルギー症について
- 医師の指導の下、除去食・代替食等で対応しています

◇入園時の諸経費
- 園服園帽　・保育教材　等

◇通園バス　なし（園外保育用のみ）

◇未入園児家庭子育て支援
- 園庭開放・親子ひろば・園内探検

赤ちゃんから年長さんまでが集う**保育園に、小６までの児童クラブも併設**されています。未就園児親子対象の**園庭開放や親子ひろば、小中学生を招いての「なかよし保育」、子ども食堂「おとなりさん」**を通して『みんなでいる楽しさ』から豊かに成長できることを大切にしています。**生活リズムや食育などの情報提供**を行ったり、四季折々の保育の中で運動、絵画造形、食育の面等から**様々な経験を楽しむことで心身の豊かな成長**をはかり、**家族や、小･中･高校、地域の方たちとの温かい交流の場**となれるよう、職員全員で力を合わせて一人ひとりの豊かな成長を見つめていきたいと思っています。

＊多様な子ども達の豊かな育ちを見つめよう、支え合おう＊

【乳幼児の保育】

0~5歳児の保育と保護者支援

【児童クラブ】

１～6年生の生活と交流の場

【子ども食堂】

週1回のホッとできる時間と場

【園庭開放＆親子ひろば】

子どもの過ごす環境に包まれて、子育ての

楽しさを分かち合う

【なかよし保育】

小学生も一緒に

園じゅうをあそび場にして

【おやくる】

親のリフレッシュタイム

＊多様な子どもの育ちを支える明照保育園の多職種連携による保育

保育教諭・保育士・看護師（保健師、助産師）・
児童クラブ指導員・栄養士・調理師・保育補助・体育指導者・
臨床＆公認心理士（保育カウンセラー）・児童発達支援管理責任者

０～５歳児保育

特別支援児保育

児童クラブ保育

地域子育て家庭支援活動

園児保護者支援・支援活動

食育活動（クッキング）

園内研修・園内外の交流

園内環境整備･点検・清掃

児童発達支援事業所療育

放課後等デイサービス療育

園児や職員のケガ＆体調異常への対応、保健だより作成

園内環境研究委員会

職員が、「安全防災」・「保健衛生」・「遊具＆教具」・「自然」・「視聴覚」・「教材＆廃材」・「広報＆掲示物」の環境委員会に分かれ、園内の共有スペースの環境構成について実践研究する。

ノンコンタクトタイム活用（保育終了後の残業対策）

乳児の午睡時間に乳児職員が幼児クラス補助に入るなどして、各種ミニ会議・書類整備・保育準備＆片付け・環境構成＆整備を実施。
それによって、夕方の残務作業を減らす。

＊職員全員が子どもの保育でつながり合う（職員の交流・連携）＊

何でも話し合える風通しの良い雰囲気の中で、抱え込まずに、子ども理解への視点や保育技術・働く姿勢など互いに刺激を受け合い、育ち合える職場環境づくりを工夫する。

＊多職種の支えで生まれる保育者の安心感、

多職種とつながり合うことで高まる保育の質＊

【看護師（助産師）】

保育者の安心につながる声	保育の質向上につながる声
・子どもの急激な体調の変化にも血圧や脈拍を測ったり、冷静に医療的な対応をして下さったりするので、私たちも落ち着いて行動することができる。 ・今までは保育者同士で「こういう症状の場合はどうしたらいいのだろう」と悩む時間があったが、それが減っている事はとても大きいと思う。 ・保護者とも看護的な視点で相談に乗ったり、すぐに病院に行くべきかどうかなどアドバイスし、保護者にも伝わりやすい。 ・妊婦のお母さんには、不安に思うことや、産後のケアなども園に助産師さんがいると心強いし、身近にいてくれるからこそ、すぐに話が聞けて嬉しいと思う。 ・園児だけでなく、自分自身の体の事で不安に思っている事や、体調面などのアドバイスをもらえる事で、病院を受診する際のヒントになるので、とても安心できる。	・いろいろなアドバイスを頂いて一緒に手当をすることで、学べることがたくさんある。 ・衛生面でも、薬品の使用方法や容量など分からないことを聞いた時に的確な答えを出してくれたり、直ぐに調べて回答してくださる為、自分自身も勉強になる。

【体育指導員】

保育者の安心につながる声	保育の質向上につながる声
・運動面での子ども達の発達についてなど気軽に相談できたり、活動内容など決めていく上でもサポートしてもらえて心強い。 ・年齢にあった体育指導を相談しアドバイスがすぐに受けられる。	・声のかけ方や活動の流れの作り方、集団あそびでの段階の踏み方、水遊びでの遊びながらの水への恐怖心の克服など本当に沢山のことを学ばせてもらえる。 ・保育の中で楽しく体幹や筋力を付けられる遊びや動きを教えてもらい、日々の保育の参考にしている。 ・例えば鉄棒やマット運動をする時に補助の仕方を教わり、自分の保育だけでは引き出せなかった子どもの姿を見る事ができる。 ・子ども達の発達に合わせた楽しい運動遊びを実践していただけることで、保育者は「こんな運動遊びがあったのか～」という学びと気づきに繋がると思いました。体のどこを使うといいのか、子ども達が楽しく体を動かしていけるような運動遊びをたくさん知ることができています。

【栄養士】

保育者の安心につながる声	保育の質向上につながる声
・アレルギーの子や離乳食の進め方など詳しい話を分かりやすく説明して下さったり、給食で美味しい！と子どもたちが絶賛したレシピを教えて下さったり。保育園の健康面、栄養面を担ってくれていてくれる心強い皆さん。 ・食育教室などを開催し、子どもたちにとって楽しい中にもより深い食への学び、興味を与えてくれていると思う。その学びを深めて活動の幅が広がった。 ・収穫したピーマンについてなど、専門的に教えてくださる栄養士の先生方の言葉は、子どもたちの印象にも残るようで、新しい発見を嬉しそうに共有する姿があった。	・保護者に離乳食や食育の話をしていただく事で、自分も知識が増えとても勉強になっている。 ・乳児食からアレルギーなどの対応も徹底しながら食育を考えているので、保育者も食に関する正しい知識が学べる。

【臨床＆公認心理士（保育カウンセラー）】

保育者の安心につながる声	保育の質向上につながる声
・気になる子について気軽に相談でき、時間が合えばすぐに様子を見に来てくださり、助言ももらえる。 ・発達に課題を抱える園児に早期支援を行い、子育てに悩みや不安を抱く保護者の方へのサポートも手厚く、園にとっても必要な存在。 ・保護者の方との面談でも一緒にお話をして頂くことで、連携を図り信頼関係も高まると感じている。 ・一人一人の子どもにとって、どんな伝え方や関わり方をすることで、伝わりやすいのか、もっと興味を示してもらえるのか悩むことがある。そこで相談できたり、関わり方のヒントをいくつか教えてもらえることでアイディアが一つでも豊かになり自身の保育にも自信となり嬉しかった。	・園内研修で色々な知識や支援の仕方や関わり方などを指導していただくことで子ども達へより深く援助・支援することができていると感じる。 ・支援児の気持ちに寄り添いリハビリや発達をサポートする様子を保育者も間近で見ることができて勉強になる。

令和５年度　こども家庭庁委託子ども・子育て支援調査研究事業
幼保連携型認定こども園教育・保育要領における「幼保連携型認定こども園として特に配慮すべき事項」等に関する調査研究

幼保連携型認定こども園として特に配慮すべき事項に関する

先駆的取り組みの実践例集

令和６年３月
一般社団法人　保育教諭養成課程研究会

園名	認定こども園明照保育園	運営主体	社会福祉法人明照保育園
所在地	愛知県豊橋市	住所	〒441-8093　愛知県豊橋市牟呂中村町 6-1
幼保連携型認定こども園設置年	2015 年	設置経緯	保育園からの移行
URL	https://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/		

認可定員

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	満 3 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
1 号認定				0 （　0　）	5 （　0　）	5 （　0　）	5 （　0　）
2 号認定					51	52	52
3 号認定	30	35	50				
合計	30	35	50	0	56	57	57

クラス編成	0 歳児 1 クラス　1 歳児 2 クラス　2 歳児 2 クラス 3 歳児 2 クラス　4 歳児 2 クラス　5 歳児 2 クラス

園の特徴

『幼保連携型認定こども園明照保育園（以下、明照保育園）』は愛知県の東端に位置する人口 37 万人都市である豊橋市に所在しています。園の歴史は古く、令和 6 年で開所 70 周年の節目を迎えます。明照保育園の前身は、戦前から開設されていた普仙寺農繁期託児所で、「ドナタデモオイデクダサイ」の看板を掲げ、地域に開かれた保育所として運営されてきました。

園の全敷地面積は約 1600 ㎡と全国的に見ても広いわけではありませんが、3 階建ての園舎とその屋上を活用しながら、にぎやかに日々の保育を行っています。0 歳児から 5 歳児までの 273 名の園児に加え、園では学童保育も行っているため、放課後や長期休みには 100 名程度の小学生も園で一緒に過ごしています。空き時間には小学生も保育室に入り保育教諭と一緒に幼児たちと関わる姿も多く見られます。また、保育教諭以外にも看護師や体育教諭、保育カウンセラーと保育以外の専門性をもったスタッフも勤務しており、多職種連携を図りながら保育を行っています。これらのスタッフが連携しながら入園前の地域の子育て家庭を対象とした子育て広場や子ども食堂など、子どもを中心とした幅広い子育ち・子育て支援を実践しています。

開設当時の基本理念を大切にし、入園前から卒園後も子どもも保護者もつながりをもちつつ、地域に開かれた子ども園として子どもから大人までたくさんの人が関わりながら園が成り立っているところが明照保育園の特徴です。

テーマ	多職種連携を活かした多様なチャンネルを通じた子育て支援		
キーワード	意見の集約・保護者へのケアワーク・保護者へのソーシャルワーク・多様な交流方法		
実践の視点	フィードバックを通した改善・専門性をもとにした支援・保護者の参加意識・ICT を含む多様なコミュニケーション		
園名	認定こども園明照保育園	園番号	

背景

明照保育園が所在する愛知県豊橋市は人口 37 万人の地方都市です。園の近隣には住宅地だけでなく学校や病院、商業施設など様々な施設があり、保護者も多様な職業に就いている方が多くいます。以前より卒園児の保護者が保育補佐として園内で活躍してきたことも多くありました。また現在では、保育教諭のほかに看護師 5 名（うち助産師資格取得者 2 名、保健師資格取得者 1 名)、体育教諭 1 名と保育以外の専門性をもったスタッフが常勤勤務しており、多職種連携を図りながら保育を行っています。加えて、平成 30 年からは週に 1 日臨床心理士が保育カウンセラーとして園に訪問し、保護者相談や保育教諭に対するコンサルテーションを行っています。

実践事例

多様な専門性をもつスタッフが園内にいることで、保育教諭に対する相談だけでなく、保護者が自分のニーズに合わせて相談先を選んで相談をすることができています。さらに、場合によっては慣れ親しんだ保育教諭を窓口とし、保育教諭と一緒に保育カウンセラーなどに相談に行くこともあるようです。このように園内で他職種連携がスムーズに行われていることで、保育の幅が広がるだけでなく子育て支援の幅も広げることができていると考えられます。また、園内研修においても保育カウンセラーによる相談支援における話しの聴き方のコツをテーマに研修を行ったり、職員同士でロールプレイを通して保護者からの相談の受け止め方について研鑽をすることもできています。

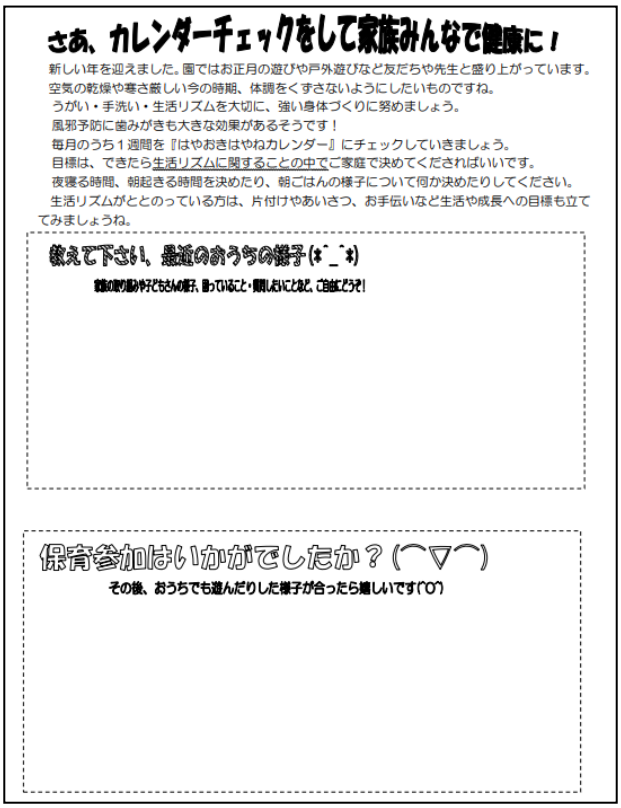
図 1　おやくるでのヨガ活動の様子

園で行われている子育て支援は相談支援だけでなく、1 か月に一度“親が親であることを忘れられる場所”として「おやくる」というイベントを開催しています（図 1)。そこでは、保護者が集まりみんなでスポーツやボードゲーム、ヨガやクッキングをして楽しんでいます。これらの活動は普段子どもたちが園内で行っている活動ともつながっており、職員がそれぞれ自分の趣味や得意分野を活かして講師となって活動を設定しています。また、保護者が保育を観察する保育参観の機会も「保育参加」として位置付けて、子どもと一緒にマラソンをしたり工作をしたりと、保護者も活動に参加することで子どもと一緒に楽しさや達成感を味わえる機会としています（図 2)。これらのことは相談支援といった個別の保護者

図 2　保護者も一緒に保育参加（マラソン）

支援というだけではない、全体に対するより予防的な保護者支援としても位置付けて行われています。

子育て支援においても ICT を含む様々なチャンネルを通じて発信・やりとりを行っています。先に述べたようなイベントや行事、普段の保育では、保護者の感想や意見などについてのフィードバックを受けて取り入れていくことも大切にしています。具体的には、毎月 1 週間行っている早起きカレンダーの裏面（図 3）を利用し、最近の行事や保育について、また家庭での子どもの様子について気になることなどなんでも共有できるスペースを用意し活用してもらっています。ICT の活用では、保育カウンセラーなどとの相談の希望はもちろん保育教諭を通じて予約を取ることもしていますが、相談内容やニーズによっては連絡アプリを通じて個別に予約を取ることも可能なようにしています。また自分の子どもに関する学年通信だけ配信するのではなく、全学年の通信をデータで配信することで、保護者の中で学年のつながりや見通しをもってもらいやすくできる工夫も行っています。


さあ、カレンダーチェックをして家族みんなで健康に！

新しい年を迎えました。園ではお正月の遊びや戸外遊びなど友だちや先生と盛り上がっています。
空気の乾燥や寒さ厳しい今の時期、体調をくずさないようにしたいものですね。
うがい・手洗い・生活リズムを大切に、強い身体づくりに努めましょう。
風邪予防に歯みがきも大きな効果があるそうです！
毎月のうち１週間を『はやおきはやねカレンダー』にチェックしていきましょう。
目標は、できたら生活リズムに関することの中でご家庭で決めてくだされば、いいです。
夜寝る時間、朝起きる時間を決めたり、朝ごはんの様子について何か決めたりしてください。
生活リズムがととのっている方は、片付けやあいさつ、お手伝いなど生活や成長への目標も立ててみましょうね。

教えて下さい、最近のおうちの様子(*^_^*)

家族の取り組みや子どもたちの様子、困っていること・相談したいことなど、ご自由にどうぞ！

保育参加はいかがでしたか？(⌒▽⌒)

その後、おうちでも遊んだりした様子が合ったら嬉しいです(^O^)

図 3 保護者からのフィードバックの活用

これらの子育て支援に加えて令和 5 年度からは、在園児を含め地域の発達支援ニーズの高い家庭に対する支援の場として、園に併設した児童発達支援事業所「みっけ」を開所し、より子育て支援のチャンネルを広げていこうとしています。

解説・優れた点

園内に様々な専門性を持つスタッフがいることを活かして、保育教諭の専門性に加えて多職種連携によるより幅の広い視点を利かして子育て支援をおこなうことができています。また、保護者の意見や感想などを ICT を含む様々なチャンネルを通じて受け取ることで、フィードバックを活かして今の支援や実践をよりブラッシュアップすることができる仕組みを作ることができていると考えられます。これらの園全体での連携や発信・受信の仕組みづくりは、“保護者も保育教諭も誰もひとりで抱え込まない”子育て支援につながると考えられます。このような仕組みがあることで、保護者も保育教諭もより余裕をもって子どもと関わることができる土台となると思われます。

また、多職種連携において大切なこととして、多職種のスタッフも保育教諭と同じように普段の保育や行事に携わり、保護者や保育教諭と顔を合わせておくことで、相談に対するハードルを低くすることにつながっていると思われます。

子育て支援全体を通して、多職種や保護者のつながりを大切にする横のつながりと、学年をまたいだ縦のつながりを大切にして子育て支援を行うことができていると思われます。子育て支援を個別の相談だけで捉えるのではなく、予防的支援を含めて相談をする側、受ける側もひとりで抱え込まずに余裕をもてる工夫を行うことができていることが好事例として挙げられる点であると思われます。

テーマ	地域の子育て家庭に求められる子ども園としての役割を活かしたつながりづくり		
実践の視点	地域の現状を把握した子育ての支援・他機関との連携		
園名	認定こども園明照保育園	園番号	

背景

園の概要で述べたように、「ドナタデモオコシクダサイ」を開所当時より基本理念として掲げ、地域に開かれた保育所としてこれまで多岐にわたる事業を展開・発展させてきました。その対象は在園児だけでなく地域の子育て家庭や今後の子育てを担う次世代に対しても幅広く間口を広げて行われてきました。これらの活動の背景には、地域の中で子どもや子育て家庭を孤立させず、今あるものを活かして地域を支えていくといった「福祉」の原点への意識が常にあります。このような基本方針のもと、園のリソースである多職種スタッフや地域資源を活用して幅広く子育て家庭への支援を行っています。

実践事例

（1）地域の未入園家庭を対象とした子育て広場「つばめっ子」

月に数回地域の未入園家庭を対象に園庭開放・親子ひろばを開催しています。園への入園希望の家庭だけでなく子育て中の地域の保護者やこれから子育てを考えている方を園に来てもらい、1時間程度の間、園庭や遊戯室で親子で自由に遊んだり、サークルタイムといって子どもを見ながら保護者同士で気軽に交流をしてもらったりする時間を用意してしています（図1）。時には在園児と一緒に遊ぶこともあります。また、並行して育児や産前産後の不安について園の保育教諭や看護師が相談を受けることもあります。利用については基本的に事前登録制で、アプリを通して発信された案内を確認して、アプリや電話を通して保護者から申し込みを受け付けています。「つばめっ子」を運営する保育教諭の多くは短時間勤務の保育教諭で構成されています。

図1　親子ひろばの様子

（2）子ども食堂「おとなりさん」

令和2年度より園内にて毎週木曜日に子ども食堂「おとなりさん」を開催しています（図2）。利用者は地域の経済的困窮家庭だけを対象としておらず、在園児の家庭も利用することが可能で、保護者の負担軽減や食育も目的として実施されています。利用したい方は事前予約をし、予約人数に応じて園の調理師が食事を用意します。利用料は支援を必要とする子どもとその友達は無料、保護者は300円とし、在園児家庭は子ども250円、保護者500円とそれぞれ設定されており、利用者の事情への配慮からその場での支払いは行わず、後日保育料等と合わせて支払うようにされています。利用者は大人と子どもを合わせて70名近くなることもあり、にぎやかな雰囲気の中でみんなで食事をしています。

図2　おとなりさんの様子

「おとなりさん」の基本方針として、困窮家庭支援のみでなく食育や楽しい食事の時間の提供を大切にしており、週に一度でも保護者も余裕のもてる食事の場の提供できることを重視しています。「おとなりさん」の中では、異年齢の子ども同士でテーブルを囲んで楽しそうに食べたり、保護者同士で楽しくおしゃべりをしながら食事をする様子がよく見られます。またその輪の中に保育教諭や保育カウンセラーも入って一緒に食事をすることもあり、その際には普段の子どもの様子や保護者の思いなどをリラックスした雰囲気の中で語り合うことができています。

地域の保健師や役所が気になっている地域の要支援家庭に対して「おとなりさん」を紹介して、利用につながっているケースもこれまでありました。また、地域の会社から食材や食品の提供をしてくれることもあり、地域の人が利用する側だけでなく提供する側も担いつつ、運営がされています。

（3）地域の学校との連携

明照保育園は学童保育「児童クラブ」を併設しており、卒園後も多くの園児が児童クラブを利用して放課後を園で過ごしています。それに伴い、保護者とのつながりも卒園で途切れることなく、就学後の学校での様子や困りごとなどをこれまで慣れ親しんだ関係のできている保育教諭に相談することができます。また、児童クラブだけでなく月に一度「なかよし保育」という地域の小学生たちが園に来て在園児と一緒に遊ぶイベントも開催しています。このように、就学後も園との関係が切れることなく、子どもも保護者も園とのつながりを持ち続けていくことができます。

図３　地域の中学生と園児の交流

地域の学校とのつながりは他にもあり、園がフリースクールの登録をしていることで、不登校傾向のある児童生徒が適応指導教室などから園に遊びに来て、在園児と一緒に日中を過ごすこともあります。園児たちと一緒に過ごす小中学生は、最初は戸惑いつつも自然と園児から頼りにされて、園児を手助けしていく中でだんだんと表情が柔らかくなっていく様子もみられるようです（図３)。また、地域の高校の野球部が園児との交流として野球を教えに来てくれたり、地域の保育士養成校に園児が訪問して学生と交流をしたりと、地域の各種学校との連携の中で切れ目のないつながりを作ろうとすることができています。

解説・優れた点

開所当時からの基本理念である「ドナタデモオコシクダサイ」という考えをもとに、地域に開かれた園として地域社会の様々な資源をつなぎ合わせる機能を果たすことができていると考えられます。特に、在園児の保護者だけでなく地域の子育て家庭や次世代の子育て家庭も視野に入れた子育て支援を行おう実践を展開することができています。これらの活動の背景にはほかにはない特別なものを別途用意しているのではなく、園や地域に既にあるリソースを活かして実践に取り組むことができており、まさに福祉の原点回帰的な子ども園の機能の発見であると考えられます。

子育て支援という観点では、地域の中でこれだけ長い期間関わりをもつことができ、かつ子どもの理解をもって接してもらえる施設があるということは、保護者にとっても社会の中での孤立を防ぐことに寄与することができていると推測されます。明照保育園で行われている一連の取組は、地域社会の中で必要とされる存在としての子ども園という役割を、実践を通して提言することができていると考えられます。

「ものや人（刺激）との出会い･関わりを通した乳幼児の感性の育ち」

～子どもを主語にすることで見えてくる、子どもの感性（自発性・主体性）～

保育は「養護と教育を一体的に行うもの」として、私たちは様々な保育･指導計画を作成します。そのなかで、幼な子の日々の成長のために営まれる「養護（生命の保持･情緒の安定）」は、保育者が行うこととして、指導計画では保育者を主語にして従来より表しています。対して「教育（健康･人間関係･環境･言葉･表現の５領域）」は子どもを主語として表しています。

主語が分かれている中で養護と教育を一体的に行う保育は、計画では明記されていても実際の場面では保育者と子どものどちらが主語なのか時に曖昧になります。

日々の保育の中で、養護と教育という２つの主語のバランス具合が保育者それぞれの保育観や感性の違いとして保育に表れることが見られます。極端な場合は保育者主導の保育になり子どもの主体性の育ちを阻んだり、逆に子どもに任せすぎて子どもの情緒不安を招いたり満足感が得られなかったりもします。

子どもが自分の意志で人生を豊かに歩む基礎を育むこの乳幼児期には、子どもと日々直に関わるそれぞれの保育者が、子どもの自発性に気づき、尊重し、主体性を支えられる保育を展開することが求められます。そのために子どもを主語にした保育の姿勢を大切にし、自身の意識や言動の振り返りを行うと共に感性を磨くことが重要だと考えます。

子どもの「なにこれ？」「不思議、どうして？」「触れてみたい、やってみたい」「もういっかい」「見てて」の気持ちに気づき、寄り添い、引き出し、支える保育者の感性を見つめます。

ものや人（刺激）との出会い･関わりを通した乳幼児の感性（自発性･主体性）の育ち		
	子どもの感性・気づき	保育者の感性･気づき
０歳児 １歳児	・見る･聞く･におう･近づく(手や指をのばす)･さわる･動かす感性 ・感じたことへの反応	・子どもの安心感･心の安定 ・刺激を受けている子どものささやかな行為（反応）への保育者の気づき･見守り･導き
２歳児	・おもしろさや楽しさを繰り返し味わう ・繰り返すたびに興味の方向（おもしろさ）が変わる感性 ・感じたことを表し、それに対する相手の反応に興味を持つ	・繰り返す行為を保障 ・子どもが共感を求める感性に気づきどう応え発展に導くか
３歳児	・見通しを立てる（こうしたらこうなるんだ） ・仮設への感性（これしたらどうなるかな？）	・生活の中で子ども自ら習慣化する力への感性 ・日常の中で子どもが達成感を持つことへの感性
４歳児	・独自の発見･意志･主体性（ぼくはこうしてみたい） ・環境や他児への感性（あのこってどうしてこうするのかな？）	・個々児の発見･意志･主体性に気づき共感する感性 ・個々児の主体性が展開できうる柔軟な環境構成や体験の提供
５歳児	・仮説を立てる（こうすると、こうなるんじゃないかな） ・他児との協働への感性（友達と～すると楽しいかも）	・個々児や集団の深まりへの感性 ・主体的に仮説を立て実行しようとする個々児や集団の関心がさらに高まっていく体験や活動の構成と展開

「ものや人（刺激）との出会い･関わりを通した乳幼児の感性の育ち」
～子どもを主語にすることで見えてくる、子どもの感性（自発性・主体性）～

０歳児（あか組）

人・もの・出会い

いないいない…ばあっ!

紙をビリビリ～
おふとんフンワリ…

なんだろう??

お友だちが気になるね

１歳児（そら組）

見えない
空気と遊ぶ

風船　ふわふわ～

（風船が空気清浄機の風でフワ～!）
ビックリ!
「つかまえるぞ!」（ピョンピョン）
「なになに!?」（どんどん集まって…）

風呂敷のバルーン!?
いっしょにはいってみる?

２歳児（ゆき組）

光と温かさを感じて

ここピカピカしてる!

なんでピカピカしてるのかなぁ?

こっちは
ながいよ

まぶし～い

あったかい…

３歳児（ほし組）

花から色が出てきた！

もみもみして～

見て、出たよ!

○○ちゃんのほうが
濃い色だね

あれ?
はっぱからは
色が出ないよ?

４歳児（はな組）

色や形がかわってく…

だいじっけ～ん!!

この色まぜると
どうなるか?

ぼくもやりたい

トロトロ
してきたよ!

５歳児（つき組）

ふねを作って浮かべてみる

テープ
貼ってみる?

ふねに
水が入ってきた!

モーターつけたら
動くかも…

ふねのまわりを
走ると

セロテープだと
はがれちゃう

さわってないのに
すすんだよ!

ふねがクルクル
まわってる～

各学年の今年の保育テーマ

&

本日の活動

【今年度の０歳児　あか組のテーマと本日の活動】

こどもと Comodo♥

Comodo（コモド）とは…
スペイン語で「心地よい」「快適な」という意味です。

○安心してすごせる場所を

- 子どもたちが“ほっ”とできる、心温まる場所になるようじっくりと関わりながら過ごします。
- 心の「安全基地」から、子ども達が安心して「なんだろう？」「行ってみたい！」と思える空間づくりを心がけます。

多職種連携のもと、
様々な視点からの保育をしています

○毎日を大切に…

- 日々の生活や活動の積み重ねを大切にし、心身の成長へと繋いでいきます。
- 小さな経験をたくさんできるように、一年間通して計画し、行います。

給食の先生と
一緒に☆

わくわく

本日の活動

め～てるはうすへようこそ！

わ～い！！

はじめての
め～てるはうす

のびのび遊べるよ！

TOPICS

新しいお部屋に
お引越ししました

おぉっ！

だいすき水あそび

わくわくドキドキしながら初めて遊んだ日。今は日に日に慣れ、探検を楽しんでいる様子が見られます♪

五感を使ったセンサリープレイや、水あそびなどなど…
楽しいあそびをたくさんしていますよ(*^-^*)

【今年度の１歳児　そら組のテーマと本日の活動】

みんなで 一緒に 大冒険 ☆彡

たくさんの新しいお友だちを迎えて５０名でスタートした元気いっぱい賑やかなそら組さん(^^*)*

みんなで大きくなろう！

我の芽生えを大切に♡はじめは先生に食べさせてもらっていたお友だちも今では自分でパクッ！両手でお茶碗を持ち、ごくごく飲みもできるようになったね。

『たべる・寝る・あそぶ』のリズムでこころとからだがぐんぐん成長してきているね

先生や友だちと一緒に♪

・朝は大好きなおうちの方と離れる時間ですが、お友だちが笑顔で迎え入れてくれるとニコニコで保育室に入っていく姿が見られるようになってきたね。

安心できる環境の中で、少しずつ自分で『やってみよう』という気持ちが育まれています♪

わくわくどきどきの大冒険☆

はじめての経験はいつも目をキラキラ輝かせてわくわくどきどきの子ども達。全身を使った遊びや探究活動、自分のやりたいと思ったことをじっくりと存分に味わっています！

子ども達のまわりは「あった！」「みて～」があふれていますよ。

面白さや不思議さを感じるようなあそびや活動を取り入れ、興味関心を広げていこう！

本日の活動内容

水あそび

手や足先で水の感触を楽しむ所から、今ではダイナミックに全身であそびに夢中になる姿がありま

色水あそびもしたよ☆

シールあそび

めくる・はがす・貼るを繰り返し楽しんで手先・指先が器用に動くようになってきているね☆

【今年度の２歳児テーマと本日の活動】

ビビビビーム

～みんなにとどけ♡　ゆきぐみビーム！～

安心できる環境の中で子ども達が、自分でやってみたい気持ちの芽生えを大切にしています。
いろいろなやってみたい事を思い切りやってみよう！！みんなからどんな素敵なビームがでてくるかな？

だいすきビーム！

遊ぶこと、食べることがだいすき！
友だちや先生、おうちの人がだいすき！
「だいすき♡」をいっぱい見つけよう。

カレーライス
おいしいね

ともだちビーム！

「保育者と♪」から「友だちと♪」へ。友だちと一緒に過ごす中で、「友だちと一緒って楽しい♪」をたくさん味わおう。

ここもつけるね

たかーい！

はなまるビーム！

身のまわりのことを「やってみよう」という気持ちを大切に♪

服がぬれない
ようにね

あるこうビーム！

全身を使って思い切り遊んだり、お散歩に行ったりと…体を動かすことで健康な心と体を作ろう。

とぶぞ～

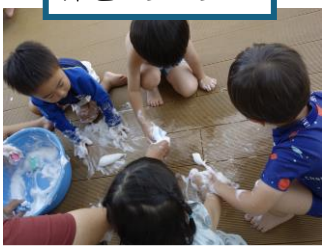
本日の活動　『泡あそび』

先週、全身を使って“泡あそび”をしました。先生だけではなく、子ども達が初めてスポンジと固形石鹸を使ってモミモミ♪泡ができると…「みてー、あわがいっぱい！」「きもちいい～」と嬉しそうな声が聞かれましたよ。手だけではなく、腕や足、体中にも泡を塗っていてまるで“体を洗っているみたい”と気持ちよさそうでしたよ☆

今日はそんな泡を使って、カップに入れたり、のせてみたりとアイスやケーキに見立てて…みんなは何が出来上がるか楽しみですね(*^-^*)♡

モミモミ♪

床をゴシゴシ～



体にもぬっちゃった！

【今年度の３歳児テーマと本日の活動】

大変身！！

**自分で何でもできちゃう！そんなどきどき・わくわくな
ほしぐみに　心も体も変身するぞ～！**

・どんどんチャレンジして、できた！の喜びから→もっとやりたい！の気持ちを大切に♪
・ダイナミックなあそび、繊細なあそびを楽しみながら、体力・指先の基盤を作っていこう♪
・先生や友だちと不思議！面白い！を感じていきながら、みんなと一緒にいると楽しい♪に繋げていこう☆

★体力★
遊びを通して
心と身体を
パワーUP！！

★表現★
色んなものに
なりきろう♪♪
伝えよう♪♪

★生活★
自分でできた！
をたくさん
作ろう！

★ときめき★
自分の好きや
得意を発見☆
先生・友だちと
一緒だと楽しい！

～本日の活動～

☆どろんこ遊び（つめたい！？あったかい！？色んな温泉をつくっちゃお～♪）

～ねらい～
◎泥や水の感覚を楽しもう！
　冷たい、温かい、ぬるぬる、ざらざら
◎泥でなにができるかな？の想像力

➡

◎思ったこと、感じたことを
　友だちと一緒に楽しもう♪

　プールあそびや水あそびなどを中心に夏の遊びを全身で五感を感じながら思いっきり楽しんでいます。その経験の中から、「みてみて！」「〇〇ちゃんのいい色だね！」「なんでそうなった？」と、友だちのやっていることにも興味が広がってきており、友だちへ伝えたい！という思いも強くなってきています。その分、友だちとの思いのぶつかり合いも増えてきていますが、気持ちをしっかりと受け止めていける時期を大切にしていきながら、色々な活動を友だちと一緒に経験していけるようにしています。

ボディーペイント

色水あそび

きらきらボトル作り

トウモロコシの皮むき

【今年度の４歳児テーマと本日の活動】

蔵王山の登山に成功♪

みんなが一緒だから楽しく登れたね♡

健康な心と体

体力＝集中力

沢山体を動かしてあそび、心も体もたくましい子に♪（歩く・走る・登る）

社会性　言葉による伝え合い

・気持ちのいい挨拶をしよう♡

・自分の気持ちを伝え、相手の気持ちに気づく♪

自立心

・自分のことは自分でやってみよう！

・失敗を恐れずに、どんなことにも前向きにチャレンジ♪

Make a　bouquet

～いろいろな花を咲かせよう～

自然との関わり　豊かな感性と表現

思考力の芽生え

・生き物がどうやって育つ？どんな環境で育っているのかを知ろう♪

・なんで？どうして？の不思議に思ったことを図鑑を使って調べよう！

数量・図形、文字等への関心・感覚

・日々の生活の中で数や文字に親しんでいこう♪

みんなで種類を決めて、買いに行ったひまわり

協同性　道徳性・規範意識の芽生え

・一人ひとりの色を大切にし、みんなと一緒にやると楽しい！

・仲間がいる嬉しさを感じ、力を合わせる楽しさを知ろう♪

みんなで植えたよ

☆本日の活動とねらい

ウォーターパークで思いっきり遊ぼう♪

※大雨の場合、室内で楽しみます

夏と言えば！プールに色水あそびなどなど…♪その他にもスライム作りやたてわり保育でのダイナミック水あそびなど、夏の遊びを全身全力で楽しんでいる子どもたち♡今日は、これまでの体験を生かして形や色が変化していく不思議さ、楽しさに気づいた子どもたちが小学生と一緒に楽しむことで、新しい刺激を受けて、自分たちで遊びを展開していく姿に注目です☆

風船入れたらどうなる？

学年を越えて一緒にあそびを発見♪

つき組さんってすごいな

私（僕）もやってみたい！

べたべただったのに、もちもちになった♪

感覚がかわった！なんで？

感覚の変化を発見！

【今年度の５歳児テーマと本日の活動】

バトン

～最高な RunWay を～

☆健康な心と体☆

失敗しても大丈夫♡

一歩踏み出す勇気を！

Let’s　チャレンジ！！

☆言葉による伝え合い☆

感情を言葉にして気持ちを共有し、受け入れたり、切り替えたりする経験を通して、自己コントロール力を育んでいこう♪

☆思考力の芽生え☆

なぜ？どうして？不思議に思ったことを共有し、いろんな考え方、感じ方があることを知ろう！学びの幅を Power Up！！

☆数量・図形、文字などへの関心・感覚☆

☆社会生活との関わり☆

☆自立心☆

☆自然との関わり・生命尊重

園外に出かけ、たくさんの文字や標識に触れ、それぞれの役割を知り、季節ならではの生き物や自然の変化に気づき、生命の不思議さ、尊さを身近に感じていこう♡

☆協同性☆
☆豊かな感性と表現☆

何かに夢中になれる心♡
メリハリをつけて楽しむ心♡
誰かと一緒に何かを成し遂げる経験をしていく中で、もっと!!もっと!!と追及し、主体となって遊びを広げていこう♪

☆道徳性規範意識の芽生え☆

たくさんの人に“自分らしさ”を受け止めてもらうことで、自分を大切に、進んで行動できるようになろう。周囲にいる人を大切にし、地域の人との関わりの中で、様々な人がいることや思いに気づいていこう♪

【～本日の活動とねらい～】

なんと！！小学校の先生が
博士に変身をしてたくさんの
不思議発見！を
教えてくれますよ♪

博士と実験 de 発見！！
「音の工作～ぐるぐる～」

ぼーるがういた！
すご～い♪
じゃあこっちは？

みずにつけたら
セロハンテープは
とれちゃうね…
ガムテープは
どう？

先日、視聴覚センターに行きました。たくさんの科学あそびに大興奮の子どもたちの姿が♪「なんでこうなるの？」「どうして高く飛んだんだろう？」と不思議がいっぱい♪これこそが、子どもの心を動かすきっかけに！その後、チームのみんなで船を作ることに…「ペットボトルは浮いたけど、お菓子の箱は、ふにゃふにゃになって沈んじゃう…」どうして？浮くものと沈むものを博士になりきって自分たちで実験！！原理は分からないが、浮いた物は船の材料に使えると閃き、話し合いながら作る子どもたちの姿がありました♪この何で？どうして？の感動こそが、もっと知りたい！という　探求心に繋がり自ら学ぼうとする力が育まれると改めて感じています☆今日はどんな不思議と発見に出会うのでしょうか？ぜひ子ども心に戻って遊んでみて下さいね♪

なんで？

どうして？

もっとしりたい～！

探求心が燃えちゃうよ～
ぐんぐん高まる！！

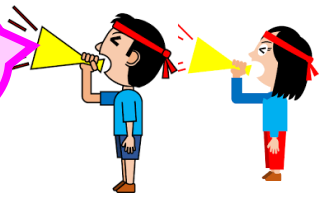
【今年度の児童クラブテーマと本日の活動】

Go for it !

勇気を出して Go! Go! Go for it !

目標に向かって進む！　頑張ってやってみる！
がんばれ～　いけいけ！　きっと大丈夫！　やってみなよ！

いけ～
がんばれ～



今年目標にしたい **Go for it !**

新しいこと
『何か』を見つけよう！

継続すること
『何か』を続けよう！

自主自立
『何か』に気づこう！

今日の予定

割れないように
持っていこうーっと！

はな組さんと
プールと屋上で思いっきり水遊び！！

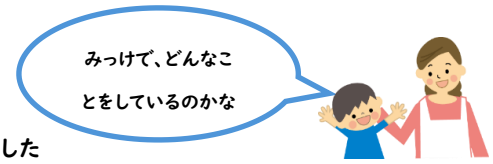
小学校は夏休み。この期間は朝から児童クラブに来ます。
暑い日が続くので、サッカーや鬼ごっこは外では出来ませんが、水遊びなら OK！！
児童クラブの子が考え準備し、屋上広場がウォーターパークに変身。
はな組さんと水遊びを思いっきり楽しみます！

もっといけー！！

【今年度の明照みっけ テーマと本日の活動】

め～てるはうす　児童発達支援・放課後等デイサービス「明照みっけ」

こども園の中での生活とのつながりを大切にしています。
様々な活動の中で、自分の力でできることを増やしていき、
将来の自立を目指します。楽しい「遊び」の中に、発達状況に配慮した
総合支援プログラムに基づく支援を取り組み、楽しみながら成長する姿をしっかりと見守っていきます。



あそみっけ

あそびを通した社会的コミュニケーション支援プログラムを支援者と1対1で実施。支援者と1対1で十分遊べる子は、支援者と子ども2人で実施。

運動遊び

色々な運動を組み合わせ、バランス感覚や体の使い方を体感し、自然と体力や運動能力を高まる。お友だちと一緒に楽しみながら、社会性を育む。

自立課題

自立課題は、自分ではじめ、自分で終わることを目標。視覚的構造化により、一人で理解して一人でできるように作成している。 楽しく取り組み、「できた」という達成感。箱の中に自分で片付け終了。切り替えて次を行う。

保育士の先生より

年中児の頃は、まわりに友だちがいることに気づき、成長の中で自分以外の人と関わることで、刺激を受け1歩1歩歩み始めている姿がありました。みっけを通して、気の合う友だちの存在ができ、その友だちや先生たちとたくさん遊び、関わることで、楽しさや喜びを味わい、その経験が保育室にもつながっています。友だちとの世界がどんどん広がってきて楽しい！嬉しい！などたくさんの表情を見せてくれる成長を感じています(*^-^*)

保護者やお部屋の先生との情報共有を　大切にしています。

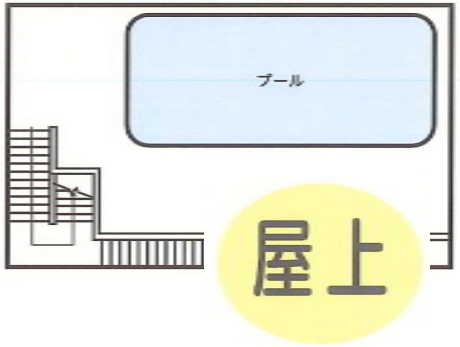
今日の予定

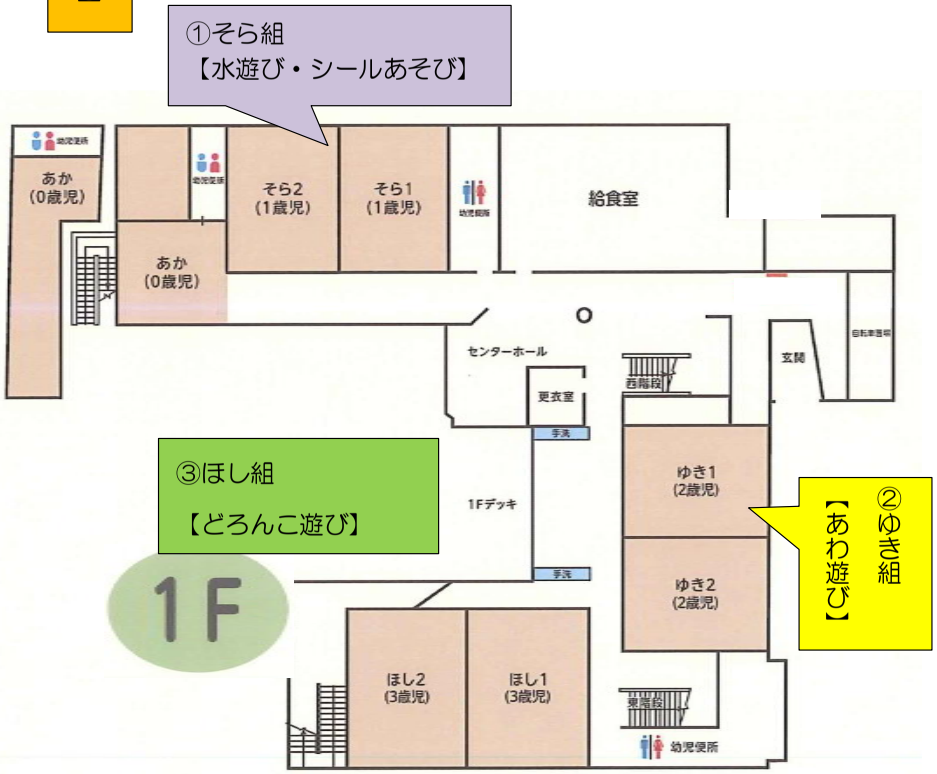
- **からだを動かそう！（粗大運動）**
- **おつくえで挑戦してみよう（自立課題）**
- **ペットボトルダーツ**

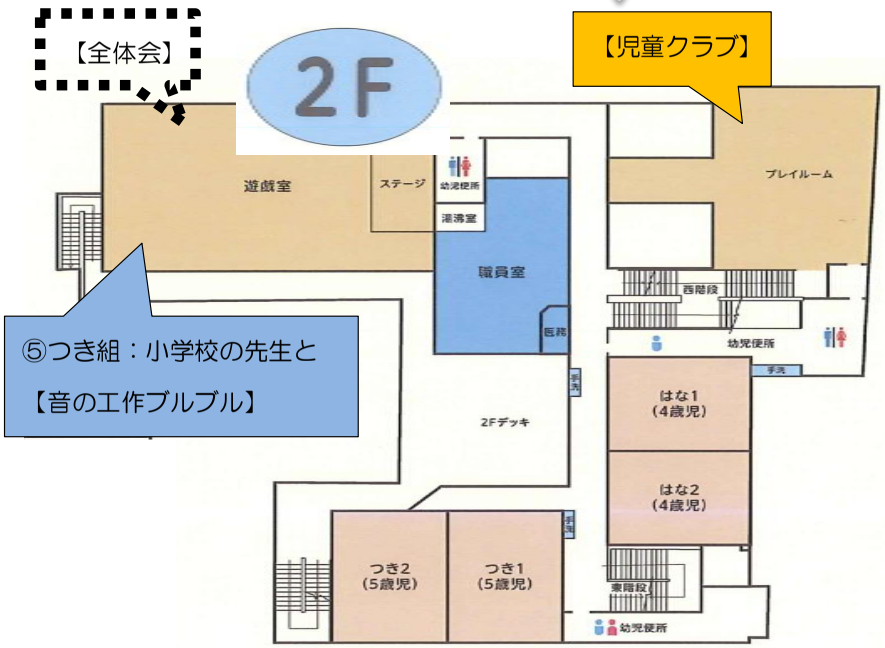
今日はどんなことを
するのかな～？

新しい施設が完成し、遊具なども新しくなりました。まだ慣れていない子どもたちですが思いっきり楽しく友だちとからだを動かし、自分が楽しく出来ることに挑戦します！ その後は、みんなでペットボトルダーツを楽しみます。大きさ、数の違うダーツどれに入れることができるかな？

保育活動マップ







＊め～てるはうす１階　⓪あか組【水遊び・室内遊び】

＊め～てるはうす２階　みっけ　うんどう遊び